

令和3年度第1回 島根支部健康づくり推進協議会の議事概要

開 催 日	令和4年3月10日(木)
場 所	サンラポーむらくも 八雲
出 席 委 員	伊藤委員、沖田委員、梶谷委員、片岡委員、高梨委員、永江委員、 増原委員、村松委員 (敬称略、五十音順)
議 題	
議 事 概 要 (主 な 意 見 等)	<p>支部長あいさつ</p> <p>1. 健診事業及び保健指導の実施状況 【議題1】</p> <p>2. 各種事業の展開(その他保健事業) 【議題2】</p> <p>3. 令和4年度の保健事業計画概要 【議題3】</p> <p>4. その他 【議題4】</p>
<p>1. 健診事業及び保健指導の実施状況【議題1】</p> <p>資料1及び資料2により令和3年度実績(速報値)及び令和2年度までの実績について説明</p> <p>[意見等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特定保健指導に関して、事業所単位で拒否される場合に、その理由の確認や受けてもらうための勧奨等はどのように考えているのか。 <p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 例えば、運送業の場合、外回りで事業所に不在や県外の支店のためとの理由が多い。そのような場合には、テレビ電話等を使用した遠隔面談による時間帯や場所にとらわれない方法での対応を進めている。それでも、拒否される場合は、ご理解がまだ不十分であったり、日程調整等が煩わしいとのご意見がある。解消するためにも、健診当日の保健指導を健診機関で実施いただくよう実施機関の拡大も必要と考えています。さらに、事業主や担当者、受診者本人へのより丁寧な説明を行っていくこと必要であり、協会での課題と考えています。 ・ 保健指導による明確な効果(具体的な実例)を踏まえながらの好事例の案内や勧奨も今後検討していく。 <p>[意見等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍で重症化予防での対応件数は落ち込んでいる。また、保健指導で面談すると、ほとんどの方が腎症の重症化予防については初めて聞いたという方が多く、指導の結果、いい効果が出ているケースもある。 	

[意見等]

- ・ 先般、リモートと対面で保健指導を受けたが、実施方法により内容が変わるのか。また、業種的に土曜日に保健指導を実施いただけると、実施率の向上にも繋がるのではないか。

【事務局】

- ・ リモートと面談での実施方法による内容の違いはありません。ただし、これまでは特定保健指導を主に実施していますが、現在はメタボの対象でなくても、血圧や血糖に関する保健指導も実施しており、それぞれの対象で内容が異なる場合があります。また、土曜日での実施については、保健指導専門機関での実施を推し進めており、事業所の要望にも対応できるよう検討しています。

2. 各種事業の展開（その他保健事業）【議題2】

資料3により説明

[意見等]

- ・ 島根県でも、生活習慣の改善と重症化予防を中心に事業を進めている。生活習慣に関しては、運動習慣（歩数）や塩分接種量の改善、重症化予防に関しては、医療費分析を通じて医療の方々の関わりを明らかにできればと考えている。
- ・ 島根県は、車社会で駐車場との行き来ぐらしか歩かない。普段歩かない人へ運動習慣の動機付けに事業所内でウォーキング大会を開催したりもしたが、中々難しい。
- ・ 協会が実施したウォーキング大会に、参加した従業員がおり、社内 SNS でも話題となった。これまで、いかに日常の中に運動習慣を持たせていくかが重要と考えていたが、イベント等を通して歩くことの達成感等を体感する事が動機付けとしては、意義があると最近感じている。
- ・ 事業所内で一定期間、万歩計をつけて、普段どのくらい歩いているか各々計測してみたが、現場の間人はある程度歩いていたが、事務等担当などは1日2,000歩と、いかに普段から歩いていないか自覚できた。また、ウォーキング大会等を通じて、歩くことの気持ちよさ等を感じる一方、普段の運動習慣の少なさに気づく機会になると思われるので、今後も継続していただきたい。

3. 令和4年度の保健事業計画概要【議題3】

資料4により説明

[意見等]

- ・ 資料4の5頁目にある「協会けんぽの保健師等は事業所カルテの分析結果等を基に「健康サポート」を実施する。」とあるが、弊社でも健康宣言をしたものの、その後の事業所の取組として具体的に実施できていないのが現状で、いい事業と感じているが、具体的にはどのようなサポートを想定されているか。

【事務局】

- ・ 事業所カルテを用いて、その事業所の弱点と思われる項目の確認とその改善に向けた取組に関してのフォローアップを協会の保健師や管理栄養士といった専門職を交えて実施していく。
- ・ 令和4年度はスキーム等の構築も含めて進めていき、徐々に拡大できればと考えている。また、事業所カルテに関しては、その事業所の医療費や健診結果の状況を全体や業態別と比較しての見える化したものである。ただし、個人情報観点から、島根支部では事業所の対象者が10名以上の事業所へ事業所カルテを作成しています。10名未満の事業所に関しては、業態別といった広い枠でのカルテを提供しています。事業所固有の課題や県全体の課題等について、取組のとりかかりとしてサポートを実施していく。サポートを通して、将来的には事業所での自主的な健康管理や取組に繋がればと考えています。

[意見等]

- ・ 事業主等の経営者層は、数値等を読み解くことに長けてる方が多いと思われ、健診受診有無による医療費の違いといったインパクトのある示し方も有効ではないかと思われる。

【事務局】

- ・ 協会においても、これまでは健康経営の促進に関して、健康優良法人といった企業のイメージアップによるメリットを打ち出していたが、今後は協会が保有しているデータによる有効性を示すことも事業所の興味を引く手段として、取り入れていきたいと考えています。

[意見等]

- ・ 未治療者への受診勧奨といった特定保健指導や重症化予防の対象とならない方への保健指導は早期の対応にも繋がり、いい対策と感じた。

【事務局】

- ・ 協会でも、手探りながら重症化の方への関わりを考えているところで、引き続き、皆様からご意見をいただきながら、事業を進めていきたいと考えております。

4. その他【議題4】

その他議題なし。

特記事項

委員の任期に関して、令和3年度末までとなるため、再任を含めた調整を予定